

参 考 資 料

- ミラノ国際博覧会の概要
- 過去の国際博覧会とそのテーマ
- 日本で開催された国際博覧会
- BIE(博覧会国際事務局)
- BIE加盟国と開催地決定ルール
- 2025年 大阪国際博覧会(イタリア語版。現地で紹介)

1.1 概要

概要

「2015年ミラノ国際博覧会」(略称「ミラノ万博」)は、2015年5月1日から10月31日までの184日間、イタリア・ミラノにおいて開催された。ミラノでの万博開催は1906年に続き2回目、約100年ぶりであった。

「食」をテーマとした史上初の万博で、110ヘクタールの広大な敷地に145カ国・地域と3国際機関が出展。イタリア国内外より約2,150万人が来場し、成功裡にその幕を閉じた。

- 名称：「2015年ミラノ国際博覧会」(略称「ミラノ万博」)
(EXPO Milano 2015)
- 種別：国際博覧会条約に基づく「登録博覧会」
- テーマ：「地球に食料を、生命にエネルギーを」
(Feeding the Planet, Energy for Life)
- 会場：ロンバルディア州ミラノ県ペーロ市・ロー市
- 会期：2015年5月1日～10月31日(184日間)
- 開催時間：
[5/1～] 10:00～23:00(夜間入場 19:00～23:00)
[8/29～] 9:00～23:00(夜間入場 18:00～23:00)
※8/29以降の9時間場は東・南ゲートのみ。西ゲートは10時間場。
※5/30以降、土曜・日曜は深夜24時まで開場。
- 会場面積：110ヘクタール
- 入場者数：約2,150万人(目標2,000万人)
- 参加国等：145カ国・地域、3国際機関
- 主催者組織：Expo 2015 S.p.A.
※本記録では「ミラノ万博公社」と称する

テーマ

「地球に食料を、生命にエネルギーを」
(Feeding the Planet, Energy for Life)

テーマとともに「世界中の人々に、十分に安全で、健康的、適切な食料を持続的に保障することは可能か?」という地球規模の課題が掲げられ、参加国は出展を通じてその解決策や貢献策を示すことが求められた。

サブテーマ

1. 「食料の安全、保全、品質のための科学技術」
(Science and technology for food safety, security and quality)
2. 「農業と生物多様性のための科学技術」
(Science and technology for agriculture and biodiversity)
3. 「農業食物サプライチェーンの革新」
(Innovation in the agro-food supply chain)

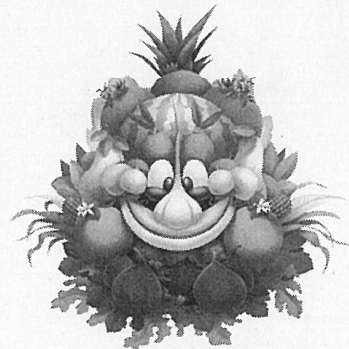
4. 「食育」
(Dietary education)
5. 「より良い生活様式のための食」
(Food for better lifestyles)
6. 「食と文化」
(Food and culture)
7. 「食の協力と開発」
(Cooperation and development on food)

ロゴマーク



「EXPO」と「2015」の4つの文字と数字を、黄色・青・マゼンタの3原色が重なるように表現されている。イタリア人デザイナー、アンドレア・プッパ氏の作品で、応募作品710点の中から採用された。

マスコット



ミラノ万博のマスコット「フーディ(Foody)」は、11の個性豊かな果物や野菜(リンゴ、ザクロ、洋ナシ、オレンジ、スイカ、青トウモロコシ、ハツカダイコン、マンゴー、イチジク、バナナ、ニンニク)が集まったキャラクターで、ディズニー・イタリアにより制作された。果物や野菜を寄せ集めて描くという、16世紀のミラノ出身の画家アルチンボルドの手法をもとにデザインされ、名前は「Food(食)」「Community(コミュニティ)」「Diversity(多様性)」に由来している。

入場パス

万博スタッフの入場パス(Accreditation Card)は以下の3種類が使用された。オンライン上の認証システムを通じて申請・登録が行われ、パスの保有者は万博会場各ゲートの専用レーンより入場が可能であった。

■パーマナント・パス:

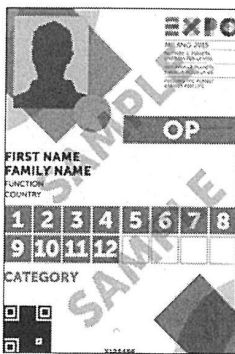
万博会期中、定期的に入場するスタッフのためのパス。顔写真、氏名、役割、所属団体、入場コードが表示されている。

■テンポラリー・パス:

臨時スタッフ、代表団の訪問時など、通期のアクセスを必要としないスタッフのためのパス。有効期限は1~30日間で任意に申請が可能。

■フローター(無記名人場パス):

無記名で、会期中繰り返し使用可能なパス。万博会場内に直ちに入場しなければならない緊急事態等のため、各パビリオンに限られた枚数が配布された。



万博会場内の各施設のうち、エキスポオフィス、メディアセンター、放送センター、オープン・エア・シアター、カンファレンスセンター/オーデトリウムなど12のエリアは入場が制限され、必要な権限(入場コード)を持つパス保有者のみ立ち入りが認められた。また、上記のスタッフパスのほか、VIP、プレス・メディアのため各専用の入場パスが発行された。

入場券

	種類	Open Date	Fixed Date
1日	大人(14歳以上)	39ユーロ	34ユーロ
	学生(14~25歳)	33ユーロ	29ユーロ
	シニア(65歳以上)	28ユーロ	24ユーロ
	障がい者	20ユーロ	17ユーロ
	障がい者(+付添者(無料)1名)	20ユーロ	17ユーロ
	子供(4~13歳)(セット販売のみ)	16ユーロ	16ユーロ
	ファミリーA(大人1人+子供1人)	49.50ユーロ	43ユーロ
	ファミリーB(大人2人+子供1人)	84.50ユーロ	73ユーロ
	ファミリーC(大人1人+子供2人)	64ユーロ	56ユーロ
	ファミリーD(大人2人+子供2人)	99ユーロ	86ユーロ
	追加の子供(ファミリーパッケージ)	10ユーロ	10ユーロ
2日連続	大人	67ユーロ	57ユーロ
	学生(14~25歳)	58ユーロ	49ユーロ
	シニア(65歳以上)	48ユーロ	42ユーロ
	子供(4~13歳)	28ユーロ	28ユーロ
	障がい者+付添者(無料)	36ユーロ	31ユーロ
	ファミリーA(大人1人+子供1人)	91ユーロ	77ユーロ
	ファミリーB(大人2人+子供1人)	154ユーロ	130ユーロ
	ファミリーC(大人1人+子供2人)	119ユーロ	101ユーロ
	ファミリーD(大人2人+子供2人)	182ユーロ	154ユーロ
		追加の子供(ファミリーパッケージ)	10ユーロ

	種類	Open Date
2日パス	大人(14歳以上)	72ユーロ
	シニア(65歳以上)	51ユーロ
	障がい者+付添者(無料)	38ユーロ
	子供(4~13歳)(セット販売)	30ユーロ
3日パス	大人(14歳以上)	105ユーロ
	シニア(65歳以上)	76ユーロ
	障がい者+付添者(無料)	55ユーロ
シーズンパス	大人(14歳以上)	115ユーロ
	シニア(65歳以上)/学生(14~25歳)	89ユーロ
	子供(4~13歳)/障がい者+付添者(無料)	57ユーロ

種類	Open Date
夜間チケット	5ユーロ

※オープンデイト(Open Date)

チケット購入時に入場希望日を選択しないタイプのチケット。購入後、入場希望日までに専用サイトで入場日を設定する。設定していないチケットでも、会場の混雑状況等に応じて入場に利用できる。

※フィックスデイト(Fixed Date)

チケット購入時に希望の入場日を選択・指定するタイプのチケット。

※2日・3日パス

連続しない日程で利用可能。

※シーズンパス

万博会期中、何度でも入場可能なチケット。所有者の名前と写真入りのパス。

※夜間チケット

夜19時より(8/29からは18時より)万博会場開場まで利用可能なチケット。

※学生、障がい者、団体向けの割引料金あり。

第1章 ミラノ 国際博覧会 の概要

第2章 日本館の 概要

第3章 日本館の 建築

第4章 日本館の 展示

第5章 日本館の 運営

第6章 日本館の 広報

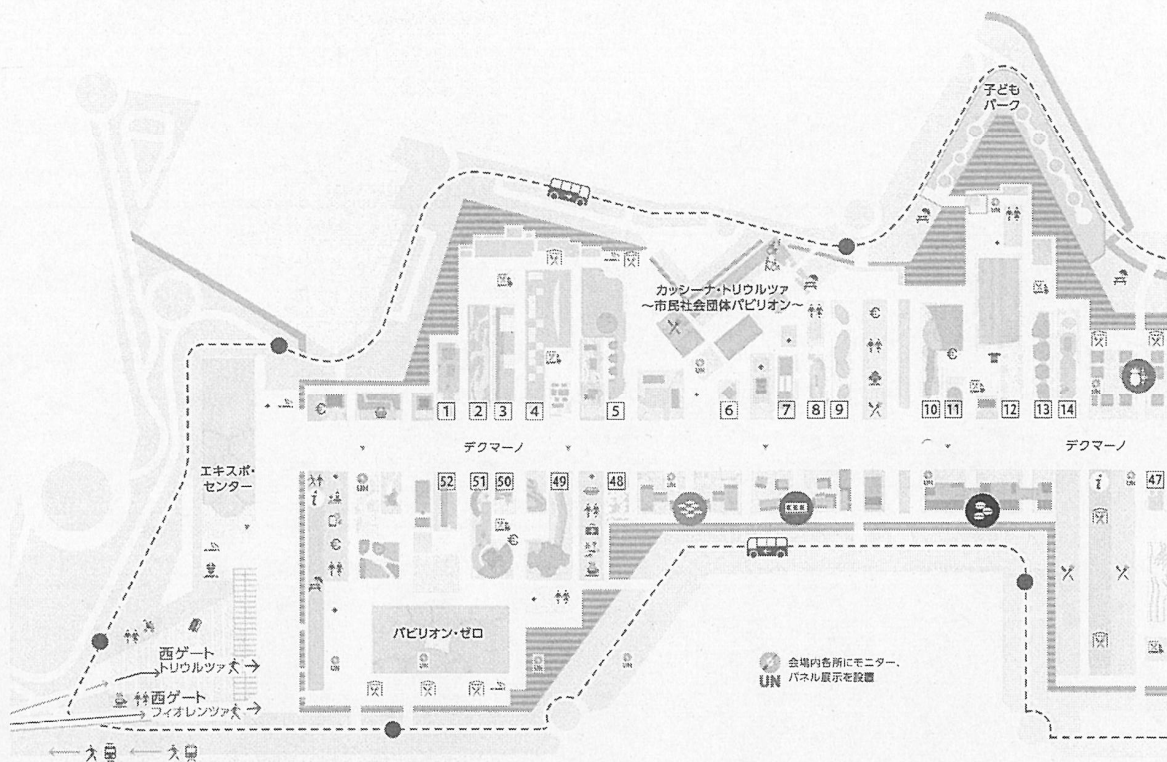
第7章 日本館の 行前事

第8章 日本館の イベント会場

第9章 日本館の レストラン

第10章 日本館の 成果

1.2 万博会場と主要施設



■パビリオン(148カ国・地域・国際機関が参加)

公式参加者

自己建築型パビリオン

1 チェコ	2 バーレーン	3 アンゴラ	4 ブラジル	5 韓国	6 モルドバ
7 リトアニア	8 ベラルーシ	9 マレーシア	10 タイ	11 ウルグアイ	12 中国
13 コロンビア	14 アルゼンチン	15 ポーランド	16 オランダ	17 パチカン	18 フランス
19 イスラエル	20 スイス	21 エクアドル	22 ドイツ	23 クウェート	24 米国
25 トルコ	26 モナコ	27 日本	28 スロバキア	29 ロシア	30 エストニア
31 オマーン	32 インドネシア	33 トルクメニスタン	34 カタール	35 モロッコ	36 イラン
37 チリ	28 オーストリア	39 スロベニア	40 メキシコ	41 ルーマニア	42 スペイン
43 ハンガリー	44 英国	45 カザフスタン	46 アラブ首長国連邦(UAE)	47 アゼルバイジャン	48 ベトナム
49 ベルギー	50 スーダン	51 ネパール	52 アイルランド		

国際機関

国際連合 (UN)

欧州連合 (EU)

カリブ共同体 (CARICOM)

クラスター型パビリオン

☉ コメ	☉ カカオ	☉ コーヒー	☉ 果実と豆類	☉ スパイス	☉ 穀物とイモ類	☉ 地中海の食	☉ 島・海・食	☉ 乾燥地帯
カンボジア	ガーナ	イエメン	ウズベキスタン	アフガニスタン	コンゴ共和国	アルジェリア	カリブ共同体(CARICOM)	エリトリア
シエラレオネ	ガボン	ウガンダ	ガンビア	タンザニア	ジンバブエ	アルバニア	北朝鮮	ジブチ
パングラデシュ	カメルーン	エチオピア	ギニア	バヌアツ	トーゴ	エジプト	ギニアビサウ	セネガル
ミャンマー	キューバ	エルサルバドル	キルギス	ブルネイ	ハイチ	ギリシャ	グレナダ	★ ソマリア
ラオス	コートジボワール	グアテマラ	コンゴ民主共和国		ベネズエラ	サンマリノ	コモロ	パレスチナ
	サントメ・プリンシペ	ケニア	ザンビア		ボリビア	セルビア	モザンビーク	★ マリ
		ドミニカ共和国	スリランカ		モザンビーク	チュニジア	セントルシア	★ モーリタニア
		東ティモール	赤道ギニア			マルタ共和国	ドミニカ国	★ ヨルダン
		ブルンジ	ベナン			モンテネグロ	マダガスカル	リベリア
		ルワンダ				レバノン	モルディブ	

★:カリブ共同体(CARICOM)館に出席

第1章 ミラノ 国際博覧会 の概要

第2章 日本館の 概要

第3章 日本館の 建築

第4章 日本館の 展示

第5章 日本館の 運営

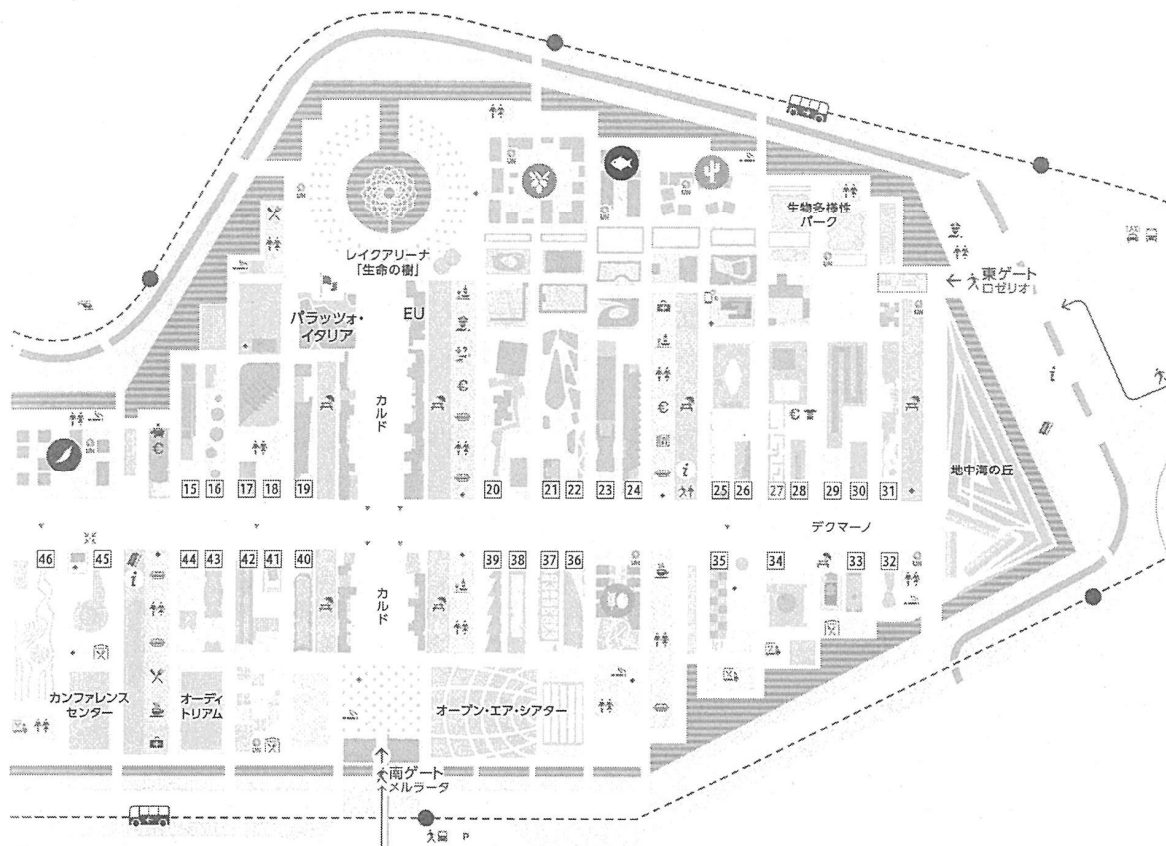
第6章 日本館の 広場

第7章 日本館の 行儀事

第8章 日本館の イベント広場

第9章 日本館の レストラン

第10章 日本館の 成果



非公式参加者

市民社会団体パビリオン

Actionaid Alliance2015 / Cesvi Caritas
Famiglia Salesiana DBN / VIS
Fairtrade International Fondazione Triulza
Lions Clubs International Oxfam
Save the Children WWF WAA-AMIA / CONAF
ESO / ONDA Kip International School
Veneranda Fabbrica Del Duomo Di Milano
Amity University / Global Foundations
Andrea Bocelli Foundation
World Expo Museum
Erasmus Student Network

企業パビリオン

New Holland Agriculture
China Corporate United Pavilion Vanke
JooMoo CIBUS&ITALIA Coca-Cola

■主要施設

テーマエリア

パビリオン・ゼロ

レイクアリーナ「生命の樹」

地中海の丘

カッシーナ・トリウルツァ～市民社会団体パビリオン～

子どもパーク

生物多様性パーク

イベントエリア

オープン・エア・シアター

オーディトリウム

カンファレンスセンター

エキスポ・センター

アクセス

万博会場は、ロンバルディア州ミラノ県ペーロ市、ロー市にまたがるエリアに建設された。ミラノ中心部から地下鉄で約30分の場所に位置し、毎年ミラノサローネ国際家具見本市等が開催される見本市会場「フィエラミラノ」に隣接している。

■ミラノ市内から

地下鉄

地下鉄1号線で、ミラノ市内各駅より万博会場最寄りのロー・フィエラミラノ万博駅まで直通。(ドウオーモ駅から約25分、ミラノ中央駅から約35分)

鉄道(郊外・地方線)

ミラノ中央駅等より、万博会場最寄りのロー・フィエラミラノ万博駅まで直通。(ミラノ中央駅から約15分)

■空港から

万博会場はミラノ・マルペンサ空港、ミラノ・リナーテ空港からほぼ等距離に位置している。ミラノ・マルペンサ空港から、バスまたはタクシーで約30分。

■その他都市から

鉄道(国内・国際線)

万博会場中は、高速鉄道フレッチャロッサが走るイタリア国鉄等を含むイタリア国内外からの各路線がロー・フィエラミラノ万博駅で停車。

自動車

A4高速道路等が万博会場に接続。

会場全体

ミラノ万博会場の特徴の一つが、古代ローマから着想を得て配置された東西南北を十字に交わる2本の大通りである。北のパラッツォ・イタリアから、南のオープン・エア・シアターまでをつなぐ350メートルの南北の大通りは「カルド(Cardo)」と呼ばれ、開催国イタリアのパビリオン群が並んだ。西のエキスポ・センターから東の「地中海の丘」に向かって東西に約1.5キロメートル伸びる大通りは「デクマノ(Decumano)」と呼ばれ、日本館をはじめとするすべての参加国のパビリオンが配置された。会場の周囲が運河に囲まれているため、万博会場が大きな「島」となり、独特の景観をつくり出した。

■入場ゲート

万博会場には4つの入場ゲートが設けられた。メインゲートである2つの西ゲート「フィオレンツァ」「トリウルツァ」は鉄道・地下鉄駅に、東ゲート「ロゼリオ」は大型バス・タクシー駐車エリアに、南ゲート「メルラータ」は一般車高駐車エリアに接続している。このほか、VIP車両のための専用入場口がエキスポ・センター横に設置された。各ゲートでは、テロ等の対策のため空港レベルのセキュリティチェックが行われた。

■シャトルバス

デクマノ、カルド等への車両の乗り入れは不可であったため、万博会場内の移動にあたっては外周道路を時計回りに巡回する無料シャトルバス(People Mover Shuttle Bus)が利用された。外周道路に10の停留所が設置され、5～7分毎に運行した。